

2019/02/14

報道関係各位様

プレスリリース

平成 31 年 2 月 14 日     アドダイス

## 【アドダイス HORUS AIによる 『AI サプライチェーン』 構想を発表】

人工生命時代の豊かな社会の創造をビジョンとし、SoLoMoN コンセプトに基づくサービスを提供する株式会社アドダイス（所在地：東京都台東区上野 5-4-2 IT 秋葉原ビル 代表：伊東大輔）は、画像検査専用 AI である『HORUS AI（ホルス AI）』を用いて、『AI サプライチェーン』構想を発表し、お客様にご提供を開始しました。

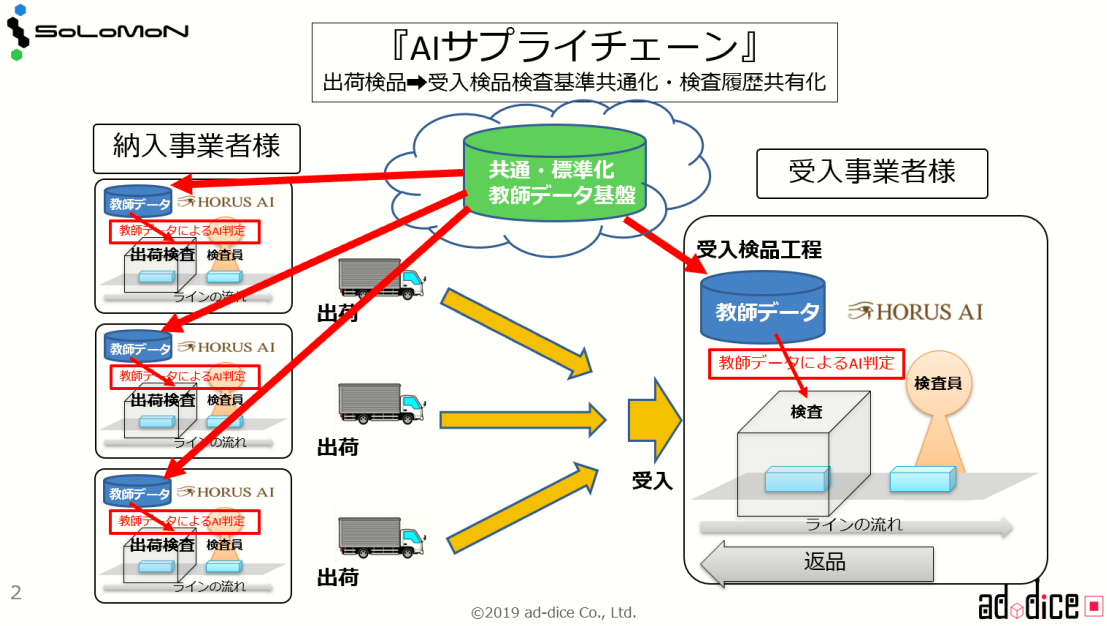
現状では、製造業等の工場内または対会社間で、出荷時の検品や入荷時の検品は、人の目視により検品作業が行われている工程があります。現状の人による検品判定は「標準見本」「限度見本」を基に、「巧の検査員」が検品実施しています。しかし、どうしても判定にぶれが発生します。その結果、出荷側判定と入荷側判定のいずれにおいても「判定差」が発生し、クレームや返品が発生しています。

アドダイスの画像検査専用 AI である『HORUS AI（ホルス AI）』は、製造業等での目視検査工程で AI クラウドサービスを提供し、「巧の検査員の判断」を AI 化し、「検知」「分類」を自動化することで、検品品質の向上・一定化・迅速化を実現し、活用されています。

この度、アドダイスは画像検査専用 AI である『HORUS AI（ホルス AI）』の活用を更に拡大し『AI サプライチェーン』の構想を立ち上げました。

『AI サプライチェーン』の構想の本質は AI の判断基準である「検品作業用・教師データ」のより踏み込んだ活用にあります。「出荷側」と「入荷側」の双方で「同一の教師データ」に基づき検品判定を行うことにより、双方の判断基準に違いが生まれなくなることになり、出荷側検品と入荷側検品の検品品質が同一になります。その結果、検品時間が削減され、ひいては返品の激減が想定されるものです。

従来の「サプライチェーン」はジャストインタイムに象徴される「指定時間」「量的数」に焦点を合わせた概念でした。これに対して、『AI サプライチェーン』は「検品品質」を担保する新しい概念です。



この『AI サプライチェーン』の構想は、アドダイスの『HORUS AI (ホルス AI)』が、独自の技術により AI の判断過程を可視化し、クラウドサービスソリューションとして画像検査専用 AI『HORUS AI (ホルス AI)』を提供しているからこそ実現できるものです。

■サービス概要

# HORUS AI (ホルス エーアイ)

サービス名	HORUS AI
サービス概要	画像検査専用 AI
URL	<a href="https://horus-ai.com/">https://horus-ai.com/</a>
システム開発・提供	株式会社アドダイス

■専門家の判断・措置を学習し環境制御を実現する特許技術ソロモン



アドダイスは Social 技術・Location 技術・Mobile、Mobility と通信 Module を Network することで情報による付加価値が生じ人工知能のフィードバックができる仕組みを SoLoMoN と呼ぶことを提唱し対応したソリューションを提供しています。専門家の判断・措置を AI で学習し環境管理を実現する特許技術を保有しています。

## ■AIソリューションに関するお問い合わせ



会社名	株式会社アドダイス
代表者	代表取締役 伊東大輔
設立	2005年（平成17年）1月
所在地	〒110-0005 東京都台東区上野 5-4-2 IT 秋葉原ビル 1F
TEL/FAX	TEL : 03-6796-7788 FAX : 03-6796-7755
URL	<a href="http://www.ad-dice.com">http://www.ad-dice.com</a>
E-mail	<a href="mailto:info@ad-dice.com">info@ad-dice.com</a>

## ■本件に関するお問い合わせ

株式会社アドダイス 営業担当・高橋（080-1067-7406、[info@ad-dice.com](mailto:info@ad-dice.com)）までお願いいたします。